



# 窪町だより

窪町小学校令和3年度12月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

## Unsung hero(アンサングヒーロー)

校長 西幅孝弘

アメリカンフットボールで時々使われる言葉です。100ヤードのフィールドの端までボールを運びタッチダウンをするには、球技なのにボールに触れることもなく味方の走路を切りひらき、迫り来る相手選手を防ぐだけが必要で、その目立たないだけか「陰の立て役者」「縁の下の力持ち」であり、「Unsung hero」という言葉で表現されることがあります。unsung で「歌われない」の意味から「活躍を賞賛されるべきなのに評価を受けない」「記録に残らず、賞賛される場をもたない殊勲者」という意味にも使われます。この社会には、人知れず人を支えたり、心遣いをしてもらったりすることがたくさんあります。気づきにくいものですが、想像力を働かせてみると様々見えることがあります。

【I】 「運動会で朝早くからいくつもの重いテントを設置する方々」を子どもたちが目にすることはありません。目には見えないのですがだれかが力を貸してくれています。同様にして95周年記念集会では、縁の下の力持ちが至る所に見られました。バースデーケーキ、感謝の心を込めた詩、歴史映像、昭和の窪町小を語る先輩方、オンラインの調整と準備、ファンファーレ、チャレンジ95、航空写真原画づくり、記念給食、記念トートバッグ……。どれも思い出の一コマになりました。けれども一体だれがいつどこでやってくれているのか子どもたちには分かりません。知らないうちに、校内の装飾が整い、大きなくす玉が現れ、にぎやかで晴れやかな校内へと変化していきました。目を閉じて思いを馳せると、そこに代表委員や集会委員、全学年の子どもたち、主事さん、地域やおうちの方、夜遅くまで準備している先生方の姿が浮かびます。そしてつい「Unsung」と心の中で私は思うのです。

【II】 5年生は夏休み前に東京パラリンピック難民選手団へ紙飛行機のメッセージを作りプレゼントしました。すると9月3日にパラリンピック難民選手団のバルフェ選手（アフガニスタン・テコンドー）が本校に来ることが決まりました。しかし、夏季休業が延長されたためキャンセルとなりました。文京区スタッフの方々は、間髪を入れずに急ぎょオンラインでの交流を企画し、準備しました。しかし、その後バルフェ選手本人が試合でけがを負ってしまいオンラインも不可能となりました。それでもスタッフは難民選手団長イレーナ・ロドリゲスさんや国際パラリンピック委員会、国連UNHCR、NHKに事情を説明し交流してもらおうことをお願いしました。その結果、先方の快諾を受けて、趣旨に賛同した他の選手とのオンライン交流が実現しました。奔走するスタッフの方の働きはだれにも見えないことでしょう。子どもたちのために「このチャンスをなんとか実現させたい」というスタッフの気持ちが伝わってきます。また、バルフェ選手は退院した後に、子どもたちにビデオメッセージを作成して送ってくれました。どちらも子どもと約束したことを忘れずに最後まで取り組んでくださっています。その心意気に感謝し心の中でやはり「Unsung hero」と思わずにはいられませんでした。

【III】 毎日人知れず消毒の作業を続ける教職員、読み聞かせの準備や練習をしてくださる方々、図書館ボランティアの方々、学校の北側で子どもの登校を見守ってくださる方、5年生や栽培委員会の子たちのフォローをして菊に愛情を注いでくださる方々、多くの方はだれにも気づかれず、ねぎらいの言葉を受けるわけでもなく、そんなことを目的にもせず、尽くしてくださっています。私たちはもっともっと Unsung heroを見つけるための広い視野をもち、無数の縁の下の力持ちに感謝の心を伝えていきます。

## 音楽室だより

(音楽主任 宝田雄介)

今年度の音楽朝会では、感染症の影響により予定されたことはできませんでした。しかし、緊急事態宣言が明けて、感染症対策を取りながら少しずつ歌唱ができるようになり、95周年記念集会にむけて「未来につなげ～記念日に歌う歌～」を全校で練習しました。

記念集会の当日は、放送での集会になりましたが、各クラスでマスクをつけて柔らかい声で歌うことができました。児童がそれぞれの思いを込め、温かい気持ちが集まった素敵な歌声でした。

現在は12月の学芸会に向けて「幕を開ける歌」を練習し、発表への気持ちを高めています。これから益々寒くなりますが、可能な限り換気を行い、感染症対策を十分に講じながら、児童にとって楽しい音楽の授業を行って参ります。

## 事務室より

(事務 増田 友子)

事務室の仕事について紹介します。事務室では学習に必要な物品の準備のほか、給食費や学習費などの学納金の引き落としに関する業務も行っています。児童や保護者のみなさまと直接関わる機会は少ないですが、日々の教育活動に迅速に対応できるよう、職員室や主事室と連携を取りながら、子どもたちの学校生活を支援しています。

## 食育について

(給食主任 鎌田 雅代)

窪町小学校では、食育を推進するため以下のような取り組みをしています。

- 「給食だより」や「献立表」の発行…給食のメニューやレシピ、それらに盛り込まれた栄養バランスの考え方など、家庭での食育に役立つ情報を発信しています。また、おすすめの給食メニューも載せています。ご家庭でぜひ作ってみてください。
- 「和食給食の日」…11月24日は語呂合わせで「いい日本食の日」とされています。この日の給食は、牛乳ではなく、日本茶を出しました。和食のよさを実感できるよう、様々な食材を使用した献立を考えています。なお、感染症予防のため、今年度は実施できませんでしたが、例年は、以下の取り組みもしています。
  - ・野菜の体験活動…1年生はとうもろこしの皮むき体験、2年生はそら豆のさやむき体験を行い、野菜への興味・関心・親しみをもてるようにしています。自分たちでむいた野菜が給食に出されると、とてもおいしくいただくことができるようです。
  - ・給食試食会の実施…食育の柱の一つである学校給食について、保護者の皆様に理解を深めていただくことを目的として、毎年1回実施しています。
  - ・ふれあい給食…3年生の祖父母の方等を学校給食にご招待し、給食を通じた交流をしています。児童にとって、高齢者の方と触れ合う貴重な機会となっています。